

2024年度  
札幌保健医療大学 卒業証書・学位記授与式



## 学長挨拶

札幌保健医療大学  
学長

大日向 輝美

長かった冬も去り、若草の芽吹く季節となりました。保護者の皆さまにおかれましては、益々清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本学の教育研究にご支援・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

本学は、2025年3月15日に卒業証書・学位記授与式を挙行し、看護学科9期生110名、栄養学科5期生45名を送り出しました。今後は看護・栄養専門職として、人々のよりよい健康のために力を尽くしてくれるものと存じます。

卒業生の国家試験合格率は、看護師97.3%、保健師100%、管理栄養士53.5%で、保健師につきましては1期生から続く100%を今年も達成することができました。また、昨年、開学以来初めて全国平均以下となった看護師国家試験は、起死回生を目指した対策強化が功を奏し、全国平均95.9%を超える結果となりました。管理栄養士国家試験も、昨年を上回る合格率となっております。新4年生には国家試験合格に向けて、早い時期から腰を据えた勉強に取り組み、来年3月には合格を勝ち取って、社会に巣立ってほしいと思います。

また、試験勉強は4年生になってから行えばよいものではないため、1~3年生には、日頃の学習を着実に積み重ねてくれるよう願います。

4月3日には看護学科76名、栄養学科24名の新入生、栄養学科編入生3名が入学し、希望にあふれる大学生活のスタートを切りました。新入生には1日も早く大学に馴染み、仲間とともに充実した学生生活を送ってほしいと思います。また、新たな仲間を迎える学友会主催の歓迎会の開催、5月の体育大会の企画・準備など、学生たちの課外活動も本格化し、学内は若いエネルギーで活気づいています。10月の大学祭、11月のGrow-up Ceremony(2年次対象)には是非ご来学の上、学生たちの活躍をご覧いただけますと幸いです。

さて、この場を借りて、大学の新たな取り組みをご報告します。新聞でも報道されましたが、本学は今年度、看護学科に「養護教諭一種免許状取得コース」を設置しました。養護教諭一種免許状取得コースは全国約90の看護系大学に置かれていますが、東北以北は本学のみであり、北海道初の設置となります。児童・生徒が抱える心身の問題は多様化・複雑化しており、看護師資格を有する養護教諭へのニーズが高まっています。道内教育界からの期待も大きいため、4年後には学校現場で児童・生徒の健康を支える優秀な人材を輩出できるよう、教育課程の充実に努めます。

保護者の皆さまにおかれましては、引き続き札幌保健医療大学をご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

## 2025年4月 看護学科 養護教諭一種コース開設

### 今、求められる 看護師の資格を持つ 養護教諭

児童・生徒の健康課題が複雑化し、医療的ケアを受けながら通学する子どもが増える中、専門知識と実践力を持つ養護教諭が求められています。本学では、道内初の[看護師×養護教諭一種コース]を設け、子どもの心身の健康を支える人材を育成します。

### 看護学科が 「選べる3コース」へ

本学では、2025年4月から看護師をベースとする3コースから選択できる新体制を導入します。

看護師コース

NEW・道内初

看護師×養護教諭一種コース

4年間でW取得・札幌市内では札幌大のみ

看護師×保健師コース



一人ひとりの将来像に合わせて  
コースを選ぶことが可能

## CONTENTS

- 学長挨拶
- 養護教諭一種コース開設 ..... 1
- 卒業証書・学位記授与式 ..... 2
- 卒業生コメント ..... 3
- 活動紹介 ..... 4~7
- 国家試験結果
- 就職・進学先一覧
- 2025年度入試結果 ... 8

2025年3月15日(土)、2024年度の卒業証書・学位記授与式をかでの2・7(北海道立道民活動センター)にて挙行了しました。今年度は保健医療学部看護学科9期生の110名、栄養学科5期生の45名、計155名の卒業生を送り出しました。学長から卒業生代表へ卒業証書・学位記が授与されたのち、在籍生を代表して看護学科 古田愛乃さんが送辞、卒業生を代表して栄養学科 成田汐音さんが謝辞を述べました。来賓・保護者の皆さまから盛大な祝福を受ける中、友人や恩師との別れを惜しみつつ、それぞれ新たな一歩を踏み出していきました。



2024年度

## 卒業証書・学位記授与式



### 卒業生謝辞

肌を刺すような冷たい風が和らぎ、春の訪れを感じるようになった今日の良き日に、私たちは晴れて卒業の日を迎えることができ、卒業生一同大変嬉しく思っております。

本日は、私たち卒業生のためにこのような盛大な卒業式を挙げていただきまして、誠にありがとうございます。ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、ならびに、学長先生をはじめ、諸先生方、ご多忙にも関わらずご出席くださいました皆様に、卒業生一同心より御礼申し上げます。先程は、数々のご祝辞と激励のお言葉を賜り、喜びとともに、私たちに与えられた使命と責任の重さを実感し、身が引き締まる思いです。

4年前の春、私たちは大学生活への不安と期待を胸に、札幌保健医療大学の学生として新しい一歩を踏み出しました。新型コロナウイルスのまん延により、入学して間もなく授業はリモートでの実施となり、仲間との交流が中々できない寂しさを感じながら過ごした日々が思い出されます。徐々に対面での授業が増えてからは、仲間と過ごす時間も増えて、毎日 他愛もないことで笑い合い、語り合いました。また、コロナ禍においては吉田学園から支援された生活支援金に助けられました。あたたかいご支援をありがとうございました。

学年が進むと、実践力を身につけるための臨地実習も始まりました。学内の講義とは異なる保健医療の実際の現場で、対象者のために多職種が懸命にケアにあたる様子を目の当たりにしました。自分の未熟さを実感する場面も多々ありましたが、実習指導者の方々からご指導やご助言をいただき、多くのことを学ぶことができました。また、看護師、管理栄養士の役割を改めて実感し、志が一層強まるきっかけにもなりました。

卒業研究では、自分たちが学びたいことや深めたいことは何かを突き詰め、手探りで研究を進めていきました。中々思うように結果が出ずに行き詰まり、落ち込む日々も沢山ありました。しかし、先生方からご指導と励ましをいただき、何度も修正を重ねた結果、自分たちが納得できる卒業論文を作り上げることができました。大学生活を彩る思い出の一つであり、興味のある分野を探究することの楽しさも知ることができました。社会に出てからも、この探求心によって自ら学びを深めていきたいと感じました。

本格的に国家試験の勉強を始めてからは、どれだけ勉強をしても不安が付きまとい、押しつぶされそうな毎日でした。しかし、仲間と励まし合いながら遅くまで一緒に勉強をしたり、先生方から激励をいただいたりして、最後まで諦めずに向き合うことができました。今振り返るとつらかったあの日々も、たくさん努力し、自分の成長につながった良い思い出です。

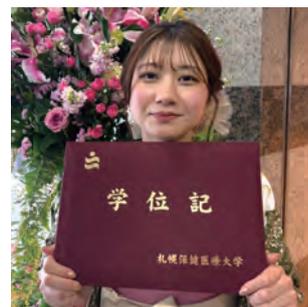
4年間の大学生活の中では、楽しかったことはもちろん、苦しんだこともありました。自分はどのような道に進んだらよいのか、それを見つけるためには何に取り組めばよいのか、頭を抱えた時期もありました。それでも乗り越えることができたのは、進路についてだけでなく、小さな悩みや不安にも寄り添ってくださった先生方、一緒に悩んでくれた仲間や家族の支えがあったおかげであり、感謝でいっぱいです。一緒に喜び、一緒に悩んでくれる人たちに出会えたことも本学で得た大きな財産です。思い出の詰まったこの場所を旅立つことは寂しいですが、本学で学び、多くの知識や技術、人間力を身につけ、新しい道を歩いていけることを誇りに思っております。

本日は、私たち看護学科9期生、栄養学科5期生は、この札幌保健医療大学を卒業します。本学で培った「豊かな感性」「高潔な精神」「確かな知力」「他者との共存」を胸に、社会に貢献できるよう、日々精進して参ります。

最後になりますが、今日まで熱心なご指導とサポートをしてくださいました先生方や職員の方々、いつも温かく見守ってくれた家族、私たちを支えてくださったすべての方々に、卒業生を代表して心より感謝申し上げますとともに、札幌保健医療大学の益々の発展と、皆様の一層のご多幸をお祈りして、謝辞とさせていただきます。

2025年3月15日  
卒業生代表  
保健医療学部 栄養学科

成田 汐音



# 卒業生コメント

看護学科 赤祖父 ゆず香 (北海道札幌西高等学校卒)

## 就職先：恵庭市・保健師

大学4年間を振り返ると、膨大な課題や看護技術習得の難しさ、緊張の連続だった実習など、大変なことが多くありました。しかし、それらを乗り越えたことで、自分の力になっている実感を得られ、喜びを感じています。今やるべきことや将来について考える中で、迷い立ち止まることもあるかもしれませんが、そんなときは、自分がなりたい看護師の姿を思い浮かべてみてください。また、一人で抱え込まず、これまでともに苦難を乗り越えてきた仲間や先輩、先生、事務職員の方々に助けを求めることも大切です。4月からは、本学で育んだ人間力を活かし、AIには代替できない「傾聴し、寄り添う」姿勢を大切にしながら、日々精進していきます。



看護学科 関本 凌太 (北海道小樽桜陽高等学校卒)

## 就職先：小樽市立病院・看護師

私の大学生活はコロナ禍の中で始まり、不安なことがたくさんありました。しかし、この4年間を振り返ると、多くの知識を学び、さまざまな経験を積みながら、看護師になるために一步步成長することができました。また、実習やテスト、就職活動、国家試験も、友達や先生方の支えがあったからこそ乗り越えることができました。これらの経験や人とのつながりは、私にとってかけがえのない大きな財産です。4月からは看護師として働き、一人の看護師として、そして一人の人間として成長していけるよう努力していきます。



看護学科 中村 綾花 (旭川龍谷高等学校卒)

## 就職先：JR札幌病院・看護師

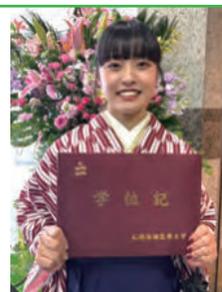
卒業を迎えるにあたり、札幌大での学生生活を振り返ると、本当にあっという間だったと感じます。特に領域別実習が始まってからは、毎日乗り越えることに必死で、終わりの見えない日々嫌気がさしたこともありましたが、くじけそうになったとき、一緒に頑張る仲間や支えてくれる家族、そして時に厳しくも温かく指導してくださる先生方の存在が、想像以上に心強い支えとなりました。自信をもって「頑張った」と言える4年間で、これまでで最も濃密な時間を過ごし、大きく成長できたこと実感しています。これからは看護師として新たな生活が始まりますが、これまでの学びや経験を糧に、精一杯努力していきます。



栄養学科 安濃 菜由 (白樺学園高等学校卒)

## 就職先：株式会社セコマ・総合職

私にとって札幌大で過ごした4年間は、本当にあっという間でしたが、さまざまな学びや経験を得られた、充実した時間でした。特に、食育農場演習や食育実践演習では、仲間とともに商品を一から作る楽しさと達成感を味わい、とても印象に残っています。また、この講義を受けたことで、商品開発に興味を持つきっかけにもなりました。学外実習や就職活動、国家試験の勉強で忙しい時期もありましたが、大学祭や体育大会にも参加でき、充実した4年間を過ごすことができました。4月からは管理栄養士としての業務には携わりませんが、これまでの学びを活かし、北海道の美味しい作物を最大限に活かした商品を開発できるよう頑張りたいと思います！



栄養学科 首藤 菜那 (北海道北広島西高等学校卒)

## 就職先：医療法人社団 高台病院・管理栄養士

実習や課題に追われ、目まぐるしく過ごしていましたが、4年間を振り返ると本当にあっという間で、とても充実していたと感じます。国家試験の勉強では不安や焦りから挫けそうになることもありましたが、支えてくださった先生方や友人にはとても感謝しています。これから国家試験に挑む後輩の皆さんも、つらいと感じることがあるかもしれません。そんなときは、一人で抱え込まず、先生や友人に助けを求めてください。きっと親身になって話を聞いてくれるはずです。4月からは精神科病院の管理栄養士として、本学の先生方が私にしてくださったように、患者さん一人ひとりに親身に向き合いながら、私自身も成長できるよう精進していきます。



栄養学科 山名 理子 (北海道札幌北高等学校卒)

## 就職先：北海道教育委員会・栄養教諭 (江別市立中央小学校)

コロナ禍で始まった大学生活でしたが、多くの仲間と出会い、かけがえのない4年間を過ごすことができました。特に卒業研究では、他大学や市内の児童会館関係者の方々と連携し、充実した食育プログラムを構築できました。この研究を通じて得た新たな食育の視点や考察は、今後、栄養教諭として子どもたちと関わる中で活かしていきたいと考えています。また、国家試験では、これまで築いてきた知識の基盤を活かしながら、自分のベストを尽くすことができました。4年間を通して支えてくださったすべての方々に、心より感謝申し上げます。4月からは小学校の栄養教諭として、子どもたちに寄り添った食育を提供できるよう、精進してまいります。





## 体育大会



4月26日(金)、学友会主催の「体育大会」を開催しました。今回のスローガンは「Unity in motion」。直訳すると「動きの統一」ですが、そこには「スポーツを通じて新たなつながりをつくり出し、保健医療学部の学生として“連携・協働する力”を育む」という思いが込められています。160名の学生が10チームに分かれ、様々な種目でチーム対抗戦が行われました。午前には「障害物競走」「バスケットボール」、お昼休みに昼食をとりながら「ビンゴ大会」を楽しみ、午後には「バレーボール」「綱引き」と続き、白熱した試合が繰り返されました。体育館には学生たちのにぎやかな声が響き渡り、大いに盛り上がりました。学科や学年を超えた交流で、充実した一日となりました。



## 札幌祭



10月13日(日)、第10回となる札幌祭を開催しました。テーマは『Embarking on New Adventures ~新たな冒険の始まり~』。サークルを中心とした模擬店をはじめ、縁日やお化け屋敷、国際交流紹介ブース、フリーマーケット、看護学科と栄養学科によるヘルスコンディションチェック、栄養学科による健康づくり教室、図書館の「OPEN LIBRARY」など、さまざまな企画でにぎわいました。模擬店では、韓国風おにぎり「チュモツパ」や、昨年より活動を開始したチョコレート研究会による「チョコレートドリンク」、nipocafeサークルの「バスクチーズケーキ」など、栄養学科ならではのこだわりメニューに加え、焼きそばやたこ焼きといった定番メニューも登場。来場者は青空のもとで食事を楽しんでいました。また、午後のステージ発表では、丘珠高校書道部や札幌国際情報高校吹奏楽部などによるライブパフォーマンスが行われ、会場は大いに盛り上がりました。地域・世代の垣根を越えて、学生と来場者がともに楽しいひとときを過ごす一日となりました。



## ホーム カミングデー



卒業生を対象とした初の試みとして「ホームカミングデー」が札幌祭と同日に開催されました。卒業生と教員、在校生が交流できる場として企画され、記念すべき第1回には20名の卒業生にご参加いただきました。久々の再会に近況報告や在学時代の思い出話が弾み、笑顔あふれる和やかな時間となりました。今回は特別企画として「シルエットクイズ」も実施され、ゲストの正体が前学長・小林清一先生だと明かされた瞬間、歓声が上がって大いに盛り上がりました。また、模擬店で使用できる食券も配付され、札幌祭の雰囲気と一緒に楽しんでいただきました。参加者からは「大学祭も楽しめて良かった」「懐かしくて話が尽きなかった」といった声も寄せられました。今年度も札幌祭と同日の開催を予定しております。



## Grow-up Ceremony



11月9日(土)に、2年生を対象として「Grow-up Ceremony」を開催しました。この式典は、保健医療職を目指す学生がその使命と責任を再認識し、さらに高度な学びへと進む意欲を新たにすることを目的としています。当日は卒業生の講話も行われ、「先輩の姿に感銘を受けた」「自分の目標が明確になった」といった感想が多く寄せられ、学生のモチベーション向上に繋がりました。講話後には、学生一人ひとりが決意を記し、専門職を目指す気持ちを新たにしました。



## 女子バスケットボール部

10月5日(土)~27日(日)に開催された「第69回北海道大学バスケットボール選手権大会」において、7戦全勝で優勝を果たし、2部リーグへの昇格が決定しました。

### 【試合結果】

- 本学 135-15 旭川医科大学 ● ○本学 142-24 北星学園大学 ●
- 本学 192-18 藤女子大学 ● ○本学 128-22 北海道科学大学 ●
- 本学 97-46 東海大学札幌校 ●
- 本学 98-39 北海道教育大学岩見沢校 ●
- 本学 116-33 北海道教育大学函館校 ●

今年度は新入生を迎えた新チームで2部リーグに挑戦しますので、引き続きご声援をよろしくお願ひいたします。



## オープンキャンパス



2024年度のオープンキャンパスは、6~3月に計6回開催され、のべ500名(保護者を除く)の方々にご参加いただきました。両学科とも、大学内の施設見学や在学生とのトークに加え、各学科の特色を生かした体験演習を実施しました。参加者には栄養学科が企業とコラボして開発したスイーツを提供し、デザートを楽しんでいただきながら、札幌らしい和やかな雰囲気を感じていただけるオープンキャンパスとなりました。特に、学生スタッフが積極的に参加者と関わっており、参加者アンケートでは「先輩が明るく優しかったので、安心して参加できました」「先輩のお話をたくさん聞いたのが良かったです」「先輩や先生方がとても親切で雰囲気が良く、良い印象を受けました!」といった嬉しい感想が寄せられました。今年度も、本学の魅力を体感していただけるプログラムを企画していきます。

【2025年度 オープンキャンパス日程】 6月14日(土) / 7月26日(土) / 8月2日(土) / 9月6日(土) / 11月29日(土) / 2026年3月28日(土)  
●開催時間 13:00 ~ 15:30 (全日程共通) ●無料送迎バス運行 12:00 JR札幌駅(東改札口) 東みどりの窓口前集合



## 2025年度入学式



2025年4月3日(木)、かでの2・7(北海道立道民活動センター)にて「2025年度 札幌保健医療大学・大学院 入学式」を挙りました。保健医療学部看護学科12期生76名、栄養学科8期生24名、編入学生3名、大学院入学生2名、計105名が入学し、期待を胸に新たな学生生活をスタートさせました。入学式終了後には「保護者説明会」を開催し、多数の保護者の皆さまにご出席いただきました。



看護学科

高齢者疑似体験実習

体験キットを装着することで視界の変化や関節の動かしづらさを体感し、高齢者の身体的変化や生活の困難さに対する理解を深めました。



看護技術論Ⅱ

紙上事例を基に看護過程を立案し、清拭・洗髪・足浴などを実践。意見交換や教員からの助言を通じて、多くの気づきを得られました。



栄養学科

給食経営管理論実習

学生・教職員に食券を販売し、約100食を提供。献立の作成から調理・提供までを実践し、給食運営の難しさややりがいを学びました。



WILL FARM Cafe (食育農場演習)

大学農場で育てたとうもろこしやたまねぎなどを収穫し、特徴を生かして調理。農作業を経験することで食物の大切さを学びました。



2024年度  
公開講座

2024年度は6月と9月に地域の皆さまを対象とした公開講座を2回開催しました。第1回は看護学科・服部ユカリ教授による講座「未来を形作る認知症との共生から生み出されること」を実施。認知症の基本的な理解から始まり、当事者の視点に立った支援のあり方や、地域で支える仕組みづくりについて実体験を交えながらわかりやすく解説しました。参加者からは「身近なテーマとして深く考えるきっかけになった」「専門的な内容を学べた」などの感想が寄せられました。第2回は栄養学科・板垣康治教授と社会医療法人 豊生会の星野恵美子医師による講座「あきらめないで 子どもの食物アレルギー」を開催。アレルギーの基礎知識や対処法に加え、アレルギー対応食品を提供している事業者の体験談も紹介されました。今後も地域の皆さまに寄り添った情報発信と交流の場を提供してまいります。

ひがしく  
健康・スポーツ  
まつり

10月20日(日)につどーむで『ひがしく健康・スポーツまつり2024』が開催され、本学の学生ボランティアと地域連携委員会を中心に「からだの中身チェック」のブースを出展しました。本ブースには260名を超える市民が参加し、常に行列ができるほど大盛況でした。ブースでは2つの健康チェックを実施。1つ目は体脂肪や筋肉量が計測できる「体組成チェック」、2つ目は普段摂取している野菜の量がわかる「ベジチェック」です。測定結果を基に、看護師と管理栄養士の教員による「健康アドバイス」を行いました。参加者からは「日頃の生活を振り返る良い機会になった」などの感想が寄せられました。

丘珠空港  
おもてなし  
プロジェクト

## 第1弾 | 丘珠空港おもてなし隊

東区まちづくりセンターと本学の共同企画「丘珠空港おもてなしプロジェクト」の第1弾として『丘珠空港おもてなし隊』を実施しました。丘珠空港の利用者約170名にお立ち寄りいただき、学生ボランティアと教職員が血圧測定とベジチェックを行いました。参加者からは「野菜の摂取量が手をかざすだけでわかることに驚いた」「野菜不足とわかり、もっと摂ろうと思った」などの声をいただき、地域活性化に貢献できる場となりました。



## 第2弾 | 丘珠空港レストラン 新メニュー開発

「丘珠空港おもてなしプロジェクト」の第2弾として、栄養学科の学生と札幌丘珠高校家庭科クラブの生徒が連携し、丘珠空港内のレストランで販売するオリジナル料理のレシピ開発を行いました。主役の食材は、丘珠名産かつ札幌の伝統野菜であるたまねぎ「札幌黄」。調理には、丘珠小学校の児童が大切に育てた札幌黄を使用し、7品のレシピが考案されました。その中から選ばれた2品が実際に提供されることになり、試食会には丘珠小学校・丘珠中学校・札幌丘珠高校の皆さんが参加しました。完成した「トンキピタサンド」と「サッポロ黄ラ黄ラジャムのアイスクリーム」は、2025年1月25日(土)～5月6日(火)の期間中、丘珠空港レストランにて販売され、高い評価をいただきました。



▲トンキピタサンド  
▲ポスターは札幌丘珠高校美術部の皆さんが制作



# 看護学科9期生・栄養学科5期生の国家試験結果と就職状況

国家試験合格おめでとうございます！

## ◎看護学科9期生 国家試験 結果

第114回看護師国家試験は、  
本学から110名が受験し107名が合格しました。

本学合格率 **97.3%**  
新卒全国平均 95.9%

第111回保健師国家試験は、  
本学から12名が受験し12名が合格しました。

本学合格率 **100%**  
新卒全国平均 96.4%

## ◎栄養学科5期生 国家試験 結果

第39回管理栄養士国家試験は、  
本学から43名が受験し23名が合格しました。

本学合格率 **53.5%**  
全国平均 48.1%

## ◎卒業生の主な就職先 ※2025年3月末実績

### 看護学科

#### 看護師

〈札幌市内〉  
北海道大学病院、札幌医科大学附属病院、JCHO北海道病院、JR札幌病院、NTT東日本札幌病院、愛全病院、石橋胃腸病院、イムス札幌消化器中央総合病院、帯広厚生病院、カレス記念病院、札幌柏葉会病院、札幌孝仁会記念病院、札幌秀友会病院、札幌中央病院、札幌禎心会病院、札幌徳洲会病院、札幌西山山病院、札幌東徳洲会病院、札幌南一条病院、札幌山の上病院、市立札幌病院、手稲溪仁会病院、斗南病院、中村記念病院、東札幌病院、北海道医療センター、北海道勤労者医療協会

〈北海道内〉  
道立病院局、江別市立病院、小樽市立病院、函館医療センター、恵み野病院

〈北海道外〉  
順天堂大学医学部附属順天堂医院、自治医科大学附属さいたま医療センター、彩の国東大宮メディカルセンター、川崎幸病院、埼玉県立小児医療センター、戸田中央病院、昭和医科大学横浜市北部病院、東京品川病院、東京都立多摩北部医療センター、東京労災病院、湘南美容外科クリニック、三井記念病院、阪和記念病院、阪和病院、医誠会国際総合病院、ほうせんか病院

#### 保健師

北海道、恵庭市、豊富町、滝上町、枝幸町

#### 進学

札幌市立大学助産学専攻科、天使大学大学院助産研究科助産専攻助産基礎分野、スズキ病院附属助産学校

※順不同

### 栄養学科

#### 管理栄養士・栄養士 ほか

〈公務員〉  
北海道、北海道教育委員会、  
〈病院〉  
旭川医科大学病院、名寄市立総合病院、(医)高台病院、(医)博愛会開西病院

〈社会福祉施設〉  
(福)経山会、(福)湖星会、(株)リビングプラットフォーム

〈教育機関・保育園〉  
北海道教育大学附属旭川小学校、(福)社会福祉法人麦の子会、雲母保育園、(株)アイグラン

〈受託給食会社〉  
日清医療食品(株)、(株)LEOC、(株)日総、コンパスグループ・ジャパン(株)

〈食品メーカー・商品開発・一般企業など〉  
ジャルロイヤルケータリング(株)、(株)セコマ、サンマルコ食品(株)、(株)シルバーライフ、(株)アインホールディングス、(株)ツルハホールディングス、(株)サップロドラッグストア、(株)ココカラファイングループ、(株)サンドラッグプラス、デンタルサポート(株)、秋山興業(株)、フレックス(株)、(株)ソシエ・ワールド

## 2025年度 入試結果 入試区分別志願者・受験者・合格者・入学者数

看護学科							栄養学科						
入試区分	募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率	入試区分	募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率
総合型	前期	15	15	15	15	1.0	総合型	前期	7	16	16	16	1.0
	後期	5	6	6	6	1.0		後期	3	1	1	1	1.0
学校推薦型		45	20	20	20	1.0	学校推薦型		15	6	6	6	1.0
一般	前期A日程	15	76	73	71	1.0	一般	前期A日程	5	5	5	5	1.0
	前期B日程	7	48	43	40	1.1		前期B日程	2	1	1	0	-
	後期	4	7	5	5	1.0		後期	2	1	1	1	1.0
共通テスト利用	前期	5	73	73	67	1.1	共通テスト利用	前期	2	6	6	6	1.0
	中期	2	5	5	4	1.3		中期	2	0	0	0	-
	後期	2	0	0	0	-		後期	2	0	0	0	-
合計		100	250	240	228	1.1	編入学		若干名	5	4	3	1.3
							合計		40	41	40	39	1.1

## ◎編集・発行 札幌保健医療大学 事務局 進路支援課

ホームページへの  
アクセスはこちら



所在地：〒007-0894 札幌市東区中沼西4条2丁目1-15 / TEL：011-792-3350

ホームページ：www.sapporo-hokeniryu-u.ac.jp